

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能事業所 まいはーとここあ		公表日 令和 7年 1月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・活動内容によって部屋分けをしています (集団活動の部屋、クールダウンの部屋、運動の部屋、専門支援の部屋等)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・基本人員を配置したうえで、児童指導員加配加算等の条件を満たすように配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・バリアフリーでなお目づ、室内の色分けなどで分かりやすい構造になっています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・感染症予防のための喚起、使用后消毒などを行うことで清潔に保っています。又、活動に合わせた空間となっています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・課題やクールダウン、専門支援等、その時の状況に応じて個室を用意しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・職員会議や日々の申し送りで支援内容の確認を行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・色々な行事のことや、これからの支援について等、アンケートが必要な時はその都度行っており、反映させてもらっています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・常にパートを含む職員の声を聴きながら、支援や業務改善に繋げています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・いずれ第3者委員会が設置できるように努めます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>		・必要なことは行っていますが、常にではありません。適時必要な勉強会を開催しています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		・令和6年度の法改正により、支援プログラムの作成及び公表が義務付けられ、公表方法及び公表内容を都道府県に届けることになっています。作成でき次第ホームページで公表します
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・契約時やモニタリング時にアセスメントを行い計画を作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・職員会議や日々の申し送りで、他の職員の意見も参考にしながら作成しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・活動記録に個別支援計画を添付していることで、全職員が確認できるようになっています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・日々の申し送りだけでなく、活動記録の読み返しや、送迎時に保護者や学校からの情報収集を行うことで確認しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・新様式に移行することで、5領域を踏まえた「本人支援」及び、「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に対し具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・様々な職員の意見を参考にしながら個々に合った計画を立てています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・当日のリーダー職員を配置することで、同じ内容でもやり方が変わる為、固定化しないようになっています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・こどもさんの状況を見ながら日々の内容を変えて様々な活動を提供しています。集団活動を毎日行うことで定着しています	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・専門支援、制作、集団活動などの支援内容の確認を行い連携して支援を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		・送迎の終了時間が定まっていなため、支援終了後の打ち合わせは行っていません。翌日の支援前に前日の気づきなど、必要な情報共有を行っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		・日々の支援の活動記録は作成しています。検証ではなく、トライアルしながら支援の改善に繋がっていきます
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・個別支援計画作成見直しのために半年に1回モニタリング（中間評価）を行っています。モニタリングまでの間に面談が必要だと思われる方は随時行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験、地域交流、主体的に参画できる活動の4つを組み合わせながら支援を行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・遊びなどを自由に選択できるようにしています。又、自分で考えて行動できるような言葉掛けを行っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や児童指導員が主に参加するようにしています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		・他の福祉サービスや学校などは関係機関連携会議やサービス担当者会議に参加することで連携を図れています。又、株式会社心愛との協力医療機関は契約しています。利用者の主治医との医療機関連携は、直接連携を図ることが難しい為、保護者や相談員を通して情報を得ています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎時に体調や、当日の様子を伺ったり、下校時刻の確認を行ったりしています。学校との情報共有は保護者に承諾を得て行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		・保護者からのアセスメントが主で、就学前に利用していた施設と連携を取ることが少ないです。横のつながりを作っていこうと思います
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・福祉サービス事業所への情報提供は学校の先生や、相談員を通して行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・センターとの連携は図っていません。今後保護者会の中で、スーパーバイザーによる研修会を開催するか検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・その場へ出かけて交流を図ることはしていませんが、公園などへ行ったときに地域児童と関わるきっかけを作っています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・事業所連絡会に可能な限り参加するようにしています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・家庭へ送迎した時やラインなどで様子を共有し、共通認識をもって支援にあたっています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングなど実施はしていませんが情報共有は行っています。研修会については検討します
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、左記に記してあるすべての書類や事業所独自の同意書等の説明は行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・半年に1回モニタリング（中間評価）を行うことで、ニーズを確認しています。相談があった時にも迅速に対応しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・仕事などの関係で説明が出来ない保護者の方もいらっしゃいますが、提示し計画の同意を得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・日々、相談に対応、状況に応じ面談・助言を行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・令和6年度より、保護者同士で情報交換できる場を設けています	・現在の保護者会を株式会社心愛全体で年に2回開催するようにしていますが、きつごこち独自の保護者会を、検討をしています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情という苦情はないのですが、要望やこちらの不手際の際には、迅速かつ適切に対応しています。その後の職員同士の情報共有も必ず行っています	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りを発行し、連絡事項や日々の様子（同意を得て写真で）を掲載し、伝えるようにしています。行事予定も当日利用の方には前もって周知しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いには十分留意しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・相手に応じて伝え方や発信方法を工夫しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・大々的な行事を開催することがなく、地域との関わりも少ないです。保護者の方の中には、地域との交流を遠慮される方もいらっしゃるの難しいところです
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・マニュアルを作成し職員への周知はできています。又、訓練を実施しお便りにも掲載させていただいていますが、家族の方への周知はできていません。保護者会などの場で周知させていただきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP計画の作成は行っています。火災・水害・地震などの避難訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時のアセスメントなどで事前に情報を得ています。又、必要な時には個々に連絡を行い、確認するようにしています ・看護師を配置しているため、服薬管理を行っています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書が必要な食物アレルギーではないので、保護者との相談の上、看護師が対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		・安全計画は作成されていますが、計画に沿った訓練行われていない為、計画に沿った訓練や研修ができるようにしていきたいと思えます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・安全計画は作成していますが、家族への周知はできていません。今後周知していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・記録を作成し、原因究明にも努めています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ニュースで取り上げられた事例検討や日々の支援の仕方を虐待防止委員会を開催することで確認しています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束については虐待防止委員会の中で組織的に決定しています。身体拘束の必要な利用者に対しては個別支援計画に記載しています		